

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

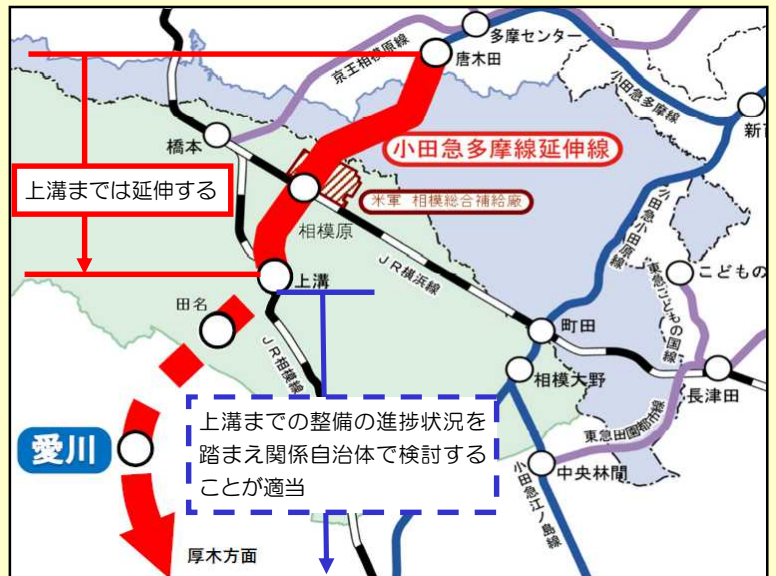
第5号

平成28年8月発行 発行／愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集／愛川町企画政策課

延伸の実現に向けて、一步前進！

平成28年4月20日、国の交通政策審議会が、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」を答申しました。答申では、概ね15年後を念頭に置いた「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」が示され、その実現のために意義のあるプロジェクトの一つに、本協議会で要望活動を続けている『小田急多摩線の延伸』が位置づけられました。

前回の答申（運輸政策審議会答申第18号）では、『唐木田からJR横浜線・JR相模線方面への延伸について、今後、整備を検討すべき路線』と位置づけられていましたが、今回の答申では、『唐木田から上溝までは延伸を行う』と、具体的な地点名が明記されました。一方で、関係自治体等において、採算性の確保に必要な需要の創出につながる沿線開発等の取組みを着実に進めた上で、事業計画の十分な検討を行うことが望ましいとも示されています。



また、関係地方公共団体において更なる延伸を検討する場合には、上溝までの整備の進捗状況を踏まえつつ行うことが適当と示されていることから、状況が一步前進したと捉えられる内容でした。今後も、関係団体と連携しながら、延伸の実現に向けた要望活動などを実施してまいりますので、より一層のご協力をお願いいたします。

「未来の愛川町」を想像したポスターを募集！

この事業はすでに終了しています。

愛甲商工会青年部では、青少年の育成を目的に、夏休み課題ポスターを募集しています。小学校4～6年生のテーマは「未来の愛川町」。鉄道（小田急多摩線）のある愛川町などを想像して、ポスターを描いてみませんか？ポスターは四つ切画用紙で必ず標語を入れてください。締め切りは夏休み終了の1週間後で、各自小学校に提出してください。その他、詳細は愛甲商工会青年部（286-3672）までお問い合わせください。

解説:交通政策審議会答申～東京圏における今後の都市鉄道のあり方について

小田急多摩線の延伸は、小田急小田原線の複々線化とともに、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとしてまとめられています。

小田急多摩線の延伸に係る答申部分の抜粋

<20> 小田急小田原線の複々線化（登戸～新百合ヶ丘）及び小田急多摩線の延伸（唐木田～相模原～上溝）

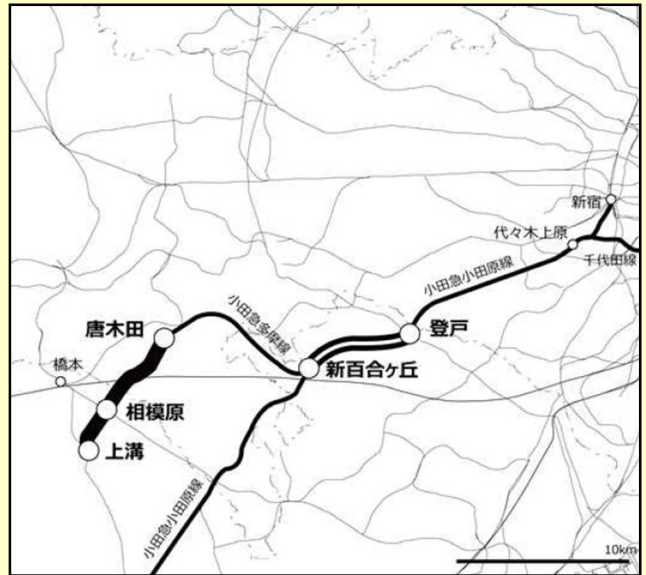
- ・登戸から新百合ヶ丘までは複々線化を行う。
- ・唐木田から上溝までは延伸を行う。

小田急多摩線延伸の意義

- ・相模原市及び町田市と都心部とのアクセス利便性の向上を期待。

小田急多摩線延伸の課題

- ・収支採算性に課題があるため、関係地方公共団体等において、採算性の確保に必要な需要の創出に繋がる沿線開発の取組等を着実に進めた上で、費用負担のあり方を含む事業計画について十分な検討が行われることを期待。
- ・また、東京都と神奈川県に跨る路線であるため、関係地方公共団体が協調して検討が行われることも期待。
- ・なお、関係地方公共団体において更なる延伸を検討する場合には、本区間の整備の進捗状況を踏まえつつ行うことが適当である。



答申のポイント！

- ・答申に掲載されたプロジェクトには、それぞれ意義や課題が示されています。
- ・各プロジェクトは、示された課題の解決を経て、事業化が進められます。
- ・上溝駅から、田名地区、愛川・厚木方面への延伸は、課題の最後、「なお」以下に示されています。

上溝までの事業化の流れ



愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（43団体）

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区、
愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地工業会、
（一財）繊維産業会、（公社）厚木法人会愛川支部、（一社）厚木青色申告会愛川地区会、
愛川町商店会連合会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、（一社）愛川町建設業協会、
KAA建築協会愛川、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、
愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、
（一社）神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合《順不同》